

『緑があふれ、祭りに人が集う東の玄関口』

- 布佐地区は、江戸時代から利根川の水運で栄えた河岸のまちであり、今でもまち並みにその面影を残すとともに、古くから受け継がれてきた竹内神社の祭礼や郷土芸能などをおして人々の結びつきが強く、また、境界を接する茨城県利根町や印西市との関係が深い地区です。
- 地区の東部では、東日本大震災に伴う液状化現象などにより、多くの被害が発生しましたが、道路やライフラインの復旧、市営住宅等の整備が完了し、震災前の状態を取り戻しつつあります。

<人のつながりを深めるまちづくり>

- 布佐地区は、地区のほぼ全区域で自治会が結成されており、自治会やまちづくり協議会によるコミュニティ活動が展開されています。
- 特に自主防犯活動が活発で、平成16年には平和台自治会館が県内第1号の地域防犯情報センターに指定されました。
- また、竹内神社の祭礼を通じた交流が盛んに行われているほか、未就園児と我孫子東高校の生徒がふれあう「高校生子育てサロン」や、子どもから大人まで幅広い年代が参加するフットサル大会など、自治会・まちづくり協議会・地区社会福祉協議会・地元事業者・我孫子東高校の連携による取り組みが行われています。
- さらに、国際野外美術展などの文化芸術活動が行われるとともに、布佐中学校区では総合型地域スポーツクラブ「布佐健康クラブ」が活動しており、これらを通じた活発な交流が生まれています。
- 布佐南小では、地域住民との連携によりあびっ子クラブが運営されています。また、校内には子育て支援施設「すこやか広場」が併設され、小学生と乳幼児親子との交流が行われています。
- 地区の東部には、復興のシンボルであり、地域の自主的な復興活動を支援するための施設として、ふさ復興会館を整備しました。
- 今後も、歴史ある祭り・伝統芸能、地域活動を通して、人々の活発な交流・コミュニティ活動の輪を広げ、地区の活性化に結び付けていく取り組みを支援していきます。

【地区の主な施策展開】

■ 地域活動を通じた地域住民の交流促進

- まちづくり協議会のコミュニティ活動への支援
- 自主防災活動の支援
- 地域スポーツクラブの活動支援
- 地域と子どもの居場所との連携・交流の推進（布佐南小あびっ子クラブの運営と布佐小への新規設置）
- 地域会議の設置
- 子育て世代間の交流の促進

<地区の資源をいかし、にぎわいを生み出すまちづくり>

- 地区の北西には、利根川沿いの水田や、湖北地区から布佐地区に流れる布湖排水路があり、南側には手賀沼干拓などによる広大な水田が広がっています。
- また、竹内神社や浅間神社、布佐市民の森などの緑も残されています。
- 布佐地区には、古くからの祭りや伝統芸能が継承されているほか、郷土の偉人といわれる著名な文化人が居住し、地域での文化的活動を行った歴史が残されています。
- 平成25年には、江戸時代の豪農の屋敷景観をとどめる旧井上家住宅を取得し、保存と活用に向けた取り組みを進めています。
- また、布佐小や布佐中では伝統芸能クラブが活動しているほか、布佐市民の森や旧井上家住宅などを会場に、国際野外美術展が毎年開催されるなど、文化芸術活動が盛んに行われています。
- 今後も、こうした地区の歴史的・文化的資源を保存・継承していくとともに、市民活動を支援して、にぎわいのある地区づくりを進めていきます。
- また、布佐駅東側の商店街では、空き店舗が見られるため、地区の実態やニーズに即した商業展開の検討を行い、商業機能の強化を図っていきます。

【地区の主な施策展開】

■ 歴史的・文化的資源の活用によるにぎわいづくり

- 旧井上家住宅の保存と活用
- 古くから土地に伝わる生活文化や祭礼、慣習などの保存・継承
- 利根川の河川敷やその南側に広がる農地や斜面林など、多様な自然環境の保全と活用

■ 地区住民のくらしを支える買い物環境の充実

- 空き店舗の有効活用

<安全で快適なくらしを支えるまちづくり>

- J R 成田線は、上野東京ラインの開業により、通勤時間帯の東京方面へのアクセスが向上しましたが、依然として単線で運行本数も少ないため、さらなる輸送力の強化や利便性の向上が望まれています。
- 道路は、成田街道（国道356号）のバイパス機能を有する手賀沼ふれあいライン（根戸新田・布佐下線）や県道千葉竜ヶ崎線の整備が進められていますが、栄橋周辺の朝夕の交通渋滞は深刻な問題になっており、危険箇所の改良と併せ、沿道環境の改善のため適切な対策を講じる必要があります。
- 駅前通りと成田街道（国道356号）を中心とした地区東側の市街地では、一部区域で大雨時に常襲的な浸水被害が発生しており、その対策が望まれています。
- 成田街道（国道356号）沿いの屋敷林が風情ある道路景観を形成しており、布佐平和台地区では、緑地協定により緑豊かなまち並みが形成されています。また、布佐駅の南側地区では地区計画を定め、都市基盤の整備など計画的なまちづくりを進めています。
- 今後も、地区の交通の利便性や住環境を向上させるため、J R 成田線の輸送力の強化や利便性の向上、県道千葉竜ヶ崎線などの整備促進に向けた働きかけを行っていきます。
- また、安全で安心して生活することができるよう、水害対策や駅南側の区域の整備を進めていきます。

【地区の主な施策展開】

■ 公共交通の利便性向上と、誰もが快適に移動できる環境づくり

- J R 成田線の輸送力の強化と利便性の向上
- シャトルバスの運行の検討
- 印西市コミュニティバスとの連携
- 布佐駅前線と駅前広場の整備の検討
- 県道千葉竜ヶ崎線の整備促進
- 延命寺付近の県道我孫子利根線と成田街道が交差する危険箇所の改良

■ 安全で快適に生活できる都市基盤整備の推進

- 布佐駅南側地区の都市基盤整備の推進
- 布佐排水区の排水施設の整備

■ 東部地区の復興の推進

- 液状化対策への個別支援
- 被災者の住宅再建支援